

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 交安、事故
 内線: 5097

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B6	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	道路法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律		宣言項目	04	地域をつなぐ社会基盤の整備	
					分野施策	020411	交通安全対策の推進	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>県管理道路において、歩道の新規設置や拡幅整備を行うことにより、歩行者の安全を確保し交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また交差点部付近において、交通事故の約6割が発生しており、慢性的な交通渋滞も発生している。右折帯設置などの交差点改良を行うことにより、交通渋滞の緩和と交通事故の軽減につなげる。</p> <p>(1) 歩道整備 421,800千円 (2) 交差点改良 165,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 歩道整備 : 歩道が無い所や狭い場所において、歩道の新規設置や拡幅整備を行う。</p> <p>イ 交差点改良 : 交差点部において、右折帯又は右折避譲帯の整備を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 歩道整備 : 一般県道上野さいたま線(入間市) 外15箇所の整備を行う。</p> <p>イ 交差点改良 : 主要地方道保谷志木線(朝霞市) 外3箇所の整備を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 歩道整備 歩道の新規設置又は拡幅整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、交通事故の軽減につながる。</p> <p>イ 交差点改良 交差点を改良することにより、交通渋滞が緩和され、排出ガスの低減にもつながる。また、車両が安心して右折できるため交通事故の低減にも有効である。</p> <p>(4) その他 過去の実績 平成26年度: 2,244,000千円 平成27年度: 2,039,000千円 平成28年度: 1,789,000千円 平成29年度: 1,799,000千円 平成30年度: 1,976,000千円</p>					
2 事業主体及び負担区分								
○社会資本整備総合交付金 (国5.5/10・県4.5/10)								
3 地方財政措置の状況								
補正予算債 充当率 100% 交付税措置 50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入	県債				
決定額	586,800	322,740		264,000			60	
現計額	2,097,800	1,140,590	5,000	952,000			210	